



Rotary 国際ロータリー第2530地区(旧承認番号 3992)

郡山ロータリークラブ WEEKLY REPORT 2023-2024

第12回

2023
10.5

世界に希望を生み出そう

第2530地区 右近八郎ガバナー訪問例会



間違えないようにお願い致します。ロータリーレートが10月から146円から149円に変更になります。

親睦活動委員会報告

山口松之進 委員長



10月誕生日祝い

3日/横田重一君、高橋良和君
10日/菅家惣一郎君 17日/中原喜範君

10月結婚記念日祝い

8日/中原喜範君、伊藤基文君
10日/菅野秀士君 12日/菅家惣一郎君
15日/安藤 昇君、有賀隆宏君、標 裕之君
18日/高橋裕一君、堀川紀房君
21日/石黒秀司君 27日/丸山 弘君 29日/佐久間啓君

9月22日郡山ゴルフクラブにて第1回親睦ゴルフコンペを開催し、19名の参加を頂きました。優勝者は太田宏先生です。おめでとうございます。次回、11月18日ご参加をお待ちしております。

太田 宏君



みなさん、どうもありがとうございます。羨ましいなと思っておりました賞がやっと頂きました。ジンスクに負けず、2連覇を目指して頑張りたいと思います。

会長挨拶

菅野秀士 会長



皆様、こんにちは。2週間ぶりに皆様のお顔を拝見して、大変安心しております。お祭り、ご苦労様でした。やはり祭りは大好きですので、是非来年は参加してみようと思っています。

10月は「地域社会の経済発展月間・米山月間」となっております。本日は朝から会長・幹事会、その後ガバナー公式訪問ということで色々ご指導を賜りました。本日はゲストの方がお見えです。国際ロータリー第2530地区2023-24年度ガバナーの右近八郎ガバナー、同じく坪井大雄地区幹事、高橋金一中央分区分区ガバナー補佐、鈴木茂中央分区分区幹事です。本日は卓話を頂きます。皆さん、よくお話を聞いて、ガバナー方針等を確認して頂きたいと思います。

挨拶

右近八郎 ガバナー



今日は長めのお話しになりますが、宜しくお願いします。



高橋金一
中央分区分区ガバナー補佐



坪井大雄
地区幹事



鈴木 茂
中央分区分区幹事

奨学金贈呈・米山奨学生挨拶

ピエピエ・トゥン様



幹事報告

中原喜範 幹事



当クラブは10月26日が再発会記念日例会となり、会場は当ビューホテルアネックスで夕方6時開始です。お

ニコニコBOX委員会報告

湯浅大郎 委員長



◎本日はよろしくお願ひ致します。 右近八郎 ガバナー
◎本日もお世話になります。 高橋金一 中央分区分区ガバナー補佐
◎右近八郎ガバナー、坪井大雄地区幹事、高橋金一中央分区分区ガバナー補佐、鈴木茂中央分区分区幹事の来訪を感謝して。 菅野秀士君、中原喜範君
◎右近八郎ガバナー、坪井大雄幹事、ようこそ郡山RCへ。心から大歓迎致します。高橋金一ガバナー補佐、鈴木茂分区分区幹事、3回目の訪問ありがとうございます。 石黒秀司君
◎右近ガバナーようこそ!ガバナーとはクラブ会長が同期で、早いもので4年が経ちました。郡山RCはまだ女性会員はおらず、期待に応えられてはいませんが、福島RCはその後増えましたか! 関根 信君
◎余計なお話をお聞き頂き、ありがとうございました。ガバナーを歓迎して。 神山英司君
◎右近ガバナー他、御一行の皆様を歓迎致します。
遠藤友紀晴君、今泉正規君、高橋裕一君、鈴木禎夫君、平松敏郎君
◎右近ガバナーを歓迎して。先日のゴルフコンペで優勝しました。大変嬉しいです。 太田 宏君

石井電算印刷 株式会社

代表取締役 石井 祐一

〒963-0724 郡山市田村町上行合字南川田 37-2
TEL 024-942-5200 FAX 024-942-5211

株式会社 石黒

代表取締役 石黒 秀司

〒963-0547 郡山市喜久田町卸 1-120-1
TEL 024-959-6426 FAX 024-959-6577

- ◎ガバナー公式訪問開催、お世話になります。 佐藤尚宏君
- ◎右近ガバナー、ようこそ郡山へ。今日は皆様にとってよい一日になります ように。 伊野泰司君
- ◎右近ガバナーを歓迎して。今月は米山月間です。皆様、宜しくお願ひします。 佐藤 聡君
- ◎右近ガバナー、ウエルカム。今月24日はポリオーダーです。入口の募金箱が 軽い状態です。宜しくお願ひ申し上げます。 前田泰彦君
- ◎右近ガバナーを歓迎致します。 湯浅大郎君
- 池田達哉君、高橋孝行君、阿部充宏君、小林志郎君
- ◎食欲の秋にぴったりの誕生日祝い、ありがとうございます。美味しく頂き ます。 高橋良和君
- ◎結婚記念日のお祝い、ありがとうございます。10月の何日だったか?が想 い出せません。 標 裕之君
- ◎過日は私の母の葬儀・告別式に際しまして、大変お心のこもったお心遣い お心遣いを頂き、ありがとうございます。 丸山 弘君
- ◎2年ぶりです。 遠藤喜志雄君
- ◎右近ガバナーはじめ地区役員の皆様を歓迎して。ニコニコBOXは特別会 計というご指導をカルチャーショックと共にお聴きました。

ガバナー紹介

菅野秀士 会長

国際ロータリー第2530地区2023-24年度ガバナー右近八郎さんです。どうぞ宜しくお願い致します。

ゲスト卓話

右近八郎 ガバナー



名前は右近八郎といいます。福島RCで4年 前にクラブ会長経験の後、今ガバナーをやっ ています。

初期のロータリーでは、実は隣同士でのビジネスに有利ということで、非常に機能的で個別的だったのですが、精神的互惠というものも同じだという考えも生まれました。これは第一の危機と呼ばれ、ある程度の対立を生みました。その後、アーサー・シェルドンが今に残る職業奉仕、オケーショナルサービスというビジネスのルールを提案しました。これも時を同じくして超我の奉仕と言ひ、奉仕は大事だと言ひ。これが第二の危機と呼ばれる割と鋭い対立を生みました。これが発展的に解消されたのが決議23-34です。シェルドンの方が理論派、超我の奉仕の方が実践派と呼ばれた妥協案ということで、上下は全くなく、真ん中に来るような決議案でありましたが、実は古典的な論争ということで解決を見て、あとは規模的にどんどん大きくなっていったというのがロータリーの歴史であります。それ以来100年に渡って、途中で第三の危機である経済大恐慌、第四の危機という第二次世界大戦がありました。21世紀に入る手前で第五の危機と呼ばれる世界的な会員減少ということに遭遇してRIは危機感を感じ、静かな革命と呼ばれているガバナー統治機構を大幅に変え、集団的かつ機能的な方向に向かったというのがこれまでのロータリーの変遷です。ただ数多くの危機を常に前向きに乗り越えて来たというのが、人類愛と言ってもいいかと思ひます。友情・親睦・寛容、善意ですね。そういうフィルターで常に覆われていたというのがロータリーがずっと継続しているキープポイントだろうと考えています。ロータリーに限らず組織を運営するに当たっては、組織の目的する機能性と、それを裏付ける精神性というのがいかに大事かということです。特に企業の方の組織理念と議論する時は、この機能性と精神性というのはやっぱり両輪であって、更にその上で大切なことを見出すということになるんですが、ことロータリーに関しては非常にこの機能性と精神性の間にギャップがないんです。

ね。ところが日本人というのは昔からこの二つをうまく組み合わせ、新しい事を作り上げるというのが得意技であります。ロータリーの組織特性を一言で言うと、地区は共同体の構成員からなる機能体である。共同体というのは自然発生的な、代表的なものは家族とか同好会、共同体、そういう構成員からなる実はある目的を持った機能体である。機能体として見た場合の地区の目的は、「クラブの支援及び活性化である」です。そこでもう2点、地区活動方針を挙げております。一つ目は、機能体の側面から持続性を確保するためには法律的な運営が欠かせないということであり、リスク管理というのを一本目の地区目標に挙げさせて頂いています。二つ目が皆さん自身の問題で「精神性の充実」ということで、「楽しいロータリー活動と研鑽」ということを伝えて頂いています。これこそが機能性と精神性の融合であろうということ、二つの地区活動方針を挙げています。

クロード・レビー・ストロークというフランスの文化人類学者の方が晩年に日本に来て、様々な職業の方と情報交換しているうちに「日本人の精神構造は西洋人と全く逆である。自分自身を社会の中において、どんどんブラッシュアップして機能的で精神的で最終的に自分というものが終着点である、非常に求心的である」と述べています。これをロータリーに当てはめると、日本人は先ずは修行から始まります。自分自身が成長して行ってようやく最後に奉仕というものを許容するんだというのが日本人の基本的な精神構造なんだということです。欧米人は社会参画が第一ですから、すぐ奉仕というものが手に届くんですが、日本人は非常に遠回りをする。

RIというのは色々なトライアルをしていますが、結局うまく行かなくてキーワードが「地域化」になっています。歴史的にはナショナリズムの話であります。グローバリズムがそれなりに限界を迎えるんだというのを、ようやくロータリーが学んだという段階でありまして、地域化の本質というのは地域に根差した精神性と共通の機能性を送達するための融合であろうということをおっしゃっています。そういう地域化が共存する事が初めてRIが継続性のできる形であろうと。その大本になるのが交流促進によるチャンスメイクがロータリーにできることであって、その後で楽しんでどう化学反応を起こすかは皆さん次第であります。楽しいというのは意識するかしないかにかかわらず、ある欲求というものが内在されていて、それが生かされるかどうかという話だと思ひます。楽しいロータリー活動というのは結局外的な楽しみから、内的な内から湧き上がる喜びでなくてははいけません。その本質は何かということ、そういう機会を得て結局新しい出会いによって、あなた自身の正義というのを成長させて下さいということであろうと思ひます。それは皆さん一人一人の問題であって、会員が主役であり魅力あるクラブ作りの源泉であろうという話であります。

地区スローガン「エンジョイロータリー」ということで、皆さんの胸に秘める誇りというものを楽しんで頂くということが実は魅力あるロータリアンへの道であろうという話であります。

出席報告

酒井良胤 委員長



総員 / 108名 出席 / 65名 欠席 / 43名
出席率 / 60.19% 前回修正率 / 60%
他クラブ出席 / 5名

3ヶ月100%出席者 2023年7・8・9月

- 阿部 充宏君、安倍 元雄君、有賀 隆宏君、五十嵐酋平君、池田 達哉君
- 石黒 秀司君、伊野 泰司君、遠藤友紀晴君、太田 宏君、大野 勝久君
- 神山 英司君、菅野 秀士君、佐藤 光一君、佐藤 聡君、佐藤 政弘君
- 酒井 良胤君、新城 義雄君、鈴木 淳策君、鈴木 禎夫君、高橋 孝行君
- 高橋 裕一君、中原 喜範君、二瓶 健一君、橋本 謙一君、初瀬 照夫君
- 林 誠君、平栗 俊昭君、平松 敏郎君、湯浅 大郎君、渡邊 邦浩君

国際ロータリー2530地区 郡山ロータリークラブ
 会長：菅野 秀士 幹事：中原 喜範
 例会場：郡山ビューホテルアネックス TEL 024-939-1111
 例会日：木曜日
 事務所：〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大一ビル1階
 TEL 024-923-0729 FAX 024-939-5678
 郡山ロータリークラブウェブサイトはこちらから
<http://k-rc.main.jp/>

次回 第14回例会
 令和5年10月19日(木)
 ゲスト卓話 「ミャンマーってどんな国?・ミャンマーと日本の違いについて」
 米山奨学生 ス ミヤツ、モン氏(ミャンマー)世話クラブ 郡山北RC

編集責任者：中原 喜範 編集：クラブ会報委員会 委員長：石井 祐一
 副委員長：鈴木 基修 委員：伊藤 清郷・伊藤 基文・前田 祐希

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C010137
 FSC® 森林認証紙使用

GREEN PRINTING JPMI 環境に配慮したグリーンプリンティング認証工場生産しています。 P-B10141

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。